



クオリティインディケータ（QI）成果報告

【心臓血管外科】

指標名

待機症例（心臓手術）における院内死亡率0%

目標：ゴール

心臓血管外科手術における、安全性は重要な項目である。術前のリスク因子を正しく評価し適切な治療を行うことで患者さんの生命予後改善を目指す。

目標：ゴール達成による効果

安心安全な手術を実施し、患者の生命予後改善を目指す

目標：ゴールに対する成果の状況

2024年における開心術（待機症例）は現在まで死亡率0%を維持している

目標：ゴール達成度

- S : 大幅な目標を上回った
- A+ : 目標を多少上回って達成
- A : 目標を達成
- B+ : 目標を少し下回った
- B : 目標を下回った
- C : 目標を大幅に下回った
- : 外的要因より継続困難となった

目標：ゴールの課題・改善策

現在までに死亡率0%を維持し、安心安全な治療を提供できている。このまま現状を維持し、多職種でのカンファレンスを通じ術前、術中、術後において、専門領域からの正確な意見を取り入れ治療方針を決定、共有し、治療を継続していく。

その他

現在スタッフ8名で24時間体制で日々診療を行っています。（修練指導医3名、心臓血管外科専門医5名が在籍）